

(一社)日本家政学会中国・四国支部「令和5年度 優秀研究発表賞」の決定について

令和5年11月14日

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部

優秀研究発表賞 選考委員長 山下広美

令和3年度より、(一社)日本家政学会中国・四国支部では、家政学に関する研究のますますの活性化や人材育成を目的に「**優秀研究発表賞**」を設けました。

今回、第69回 中国・四国支部大会（岡山大会）の参加者から投票いただき、本支部大会において研究発表をされた本支部会員より次の5名の優秀研究発表者を選出いたしました。選出に当たっては、審査結果の上位者を基に専門分野による不平等が生じないように配慮しました。

(一社)日本家政学会中国・四国支部 優秀研究発表賞の授賞内規に基づき、選考委員会の議を経て常任理事会に報告し授与することを決定いたしました。受賞者には、賞状と副賞を贈呈します。受賞者の益々の研究の御発展を祈念しております。

島根大学大学院 熊谷早恵 氏

研究発表の題目

『タンニンを含む未利用資源添加によるクッキーの低アレルギー化』

山口大学 西尾幸一郎 氏

研究発表の題目

『身近な外国人住民との異文化間交流促進に向けた授業開発と評価  
—小学校生活科「まちたんけん」の単元を事例として—』

広島大学大学院 宮川駿 氏

研究発表の題目

『国際バカロレア (IB) 校における家庭科教育の展開の現状と課題』

岡山大学学術研究院 詫間千晴 氏

研究発表の題目

『「中等家庭科授業開発」における家庭科と各教科を比較・整理する機会の導入』

広島大学大学院 山竹愛海 氏

研究発表の題目

『「のん太の家庭科室」活動による生活実践力の変容に関する研究  
—参加児童に着目して—』